

市制施行 60 周年記念市政功労者表彰を受けました

このたび習志野市国際交流協会が、市制施行 60 周年記念市政功労者表彰の一部門である「市民協働功労表彰」を受けました。

この表彰は、多年にわたり市政の発展に尽力し、その功績が特に顕著であると認められる個人と団体に与えられるものです。

表彰式は、平成 26 年 11 月 1 日(土)に習志野文化ホールにおいてとり行われ、個人 713 名、団体 65 団体の方々がこの榮譽に浴しました。

当協会は、1986 年 4 月 26 日、習志野市とアメリカ合衆国アラバマ州タスカルーサ市が姉妹都市提携をしたことを契機に、翌年の 1987 年 7 月 18 日に設立されました。以来多くのボランティアの方々に支えられながら、習志野市における国際交流の推進と国際化に寄与することを目的に活動してきました。内外における国際交流、国際理解、国際支援、それに伴う情報の収集と提供、日本語ボランティアの育成など、その活動は多岐にわたります。このような地道な活動を毎年継続していることに加えて、今年度は市内 4 つの高等学校の生徒をタスカルーサ市に派遣するなど、



記念式典で挨拶する宮本市長

新たな事業を積極的に展開しています。

協会の活動は決して華やかでも大袈裟なものでもありません。むしろ国際交流という役割に根気よく取り組んでいる地道な活動です。今回の表彰は、ボランティアとして長く続けてきたことが評価されたものと思いますが、一方で実際の活動ではボランティア自身が励まされ、学んでいます。それが今日まで長く活動を続けてこられた原動力だと思います。

市政功労者表彰は、ボランティア活動に従事してきた者にとって至上の名誉です。今回の表彰を、これまでの活動に尽力いただいた関係者の皆様とともに喜びたいと思います。

(報告：事務局長 齊藤富男)